

# うめのみ

## 子ども達の自尊感情を高めるために、できること

「自分にはこんなよいところがある。」自分のよさを一人一人の子ども達が見つけることができる、胸を張って言うことができるようにしたい、それは私達の願いです。子ども達の自尊感情を高めるために、学校とともに、地域・家庭も一緒に取り組んでいけたらと、学校運営協議会で、**「子ども達への『ほめ言葉』と『ありがとう』のシャワーを増やそう」**を掲げました。同会議で、そのために大切なことを指導助言をいただき、具体的にできることを協議しています。

大切なことの1つに、**子ども達が（と）、多くの人と（が）**かかわりをもつことが、挙げられました。かかわりをもつには、子ども達が「**地域に出ること**」だと考えます。

今年は多くの自治会で夏祭り（秋祭り）が実施されるので、子ども達が参加すること、そして、祭りを楽しみつつ、たくさんの人とあいさつをすること、会話を楽しむこと、できる仕事があればやってみることで、地域の方と交流しながら、自分のことを覚えてもらい、よさを見つけてもらうことにつながっていくのではないかと考えます。

7月11日は、5・6年生の子ども達の代表が、オンラインで、太宰府中3年の「地域親善大使」から地域の祭りの時間帯や内容を聞くミニ会議を行いました。そして、聞いたことを、放送で全校に伝え、お祭りへの参加を呼びかけています。

また、多くの子ども達が参加を希望している通学合宿が9月の終わりに4年ぶりに開催されます。清掃活動や資源回収を実施される自治会もあると聞いています。地域に出向く機会がたくさんあります。保護者の皆様と一緒に参加できるといいですね。

大切なことの2つに、**家庭では、子ども達への「ありがとう」の言葉かけが有効と**挙げられました。もうすぐ夏休みに入ります。PTAより「**新家庭宣言**」として、規則正しい生活を送る・家族の一員として役割をもつための取り組みが実施されます。その中に、子ども達が、「**自分の家の仕事を決めがんばる!**」項目があります。お手伝い＝自分の仕事を実施したら、どうぞ、すかさず「**ありがとう**」を子ども達に伝えてください。

地域の皆様、保護者の皆様、子ども達の自尊感情を高めるために、どうぞよろしくお願いいたします。



「移動博物館」と題して、校内に「太宰府の自然・生き物」の展示をしていただきました。左と中央の写真は、昼休みに、それらを見てさわって楽しむ子ども達の様子です。右の写真は、楠田市長様による絵本贈呈式の一場面です。本校出身、子ども達の大先輩にあたる大野寿子様、自身が書かれた「いっしょに楽しむおはなしの絵本」という題名の絵本を寄贈してくださいました。子ども達の知的好奇心や豊かな心を育てるためにたくさんの方が心を寄せてくださっています。